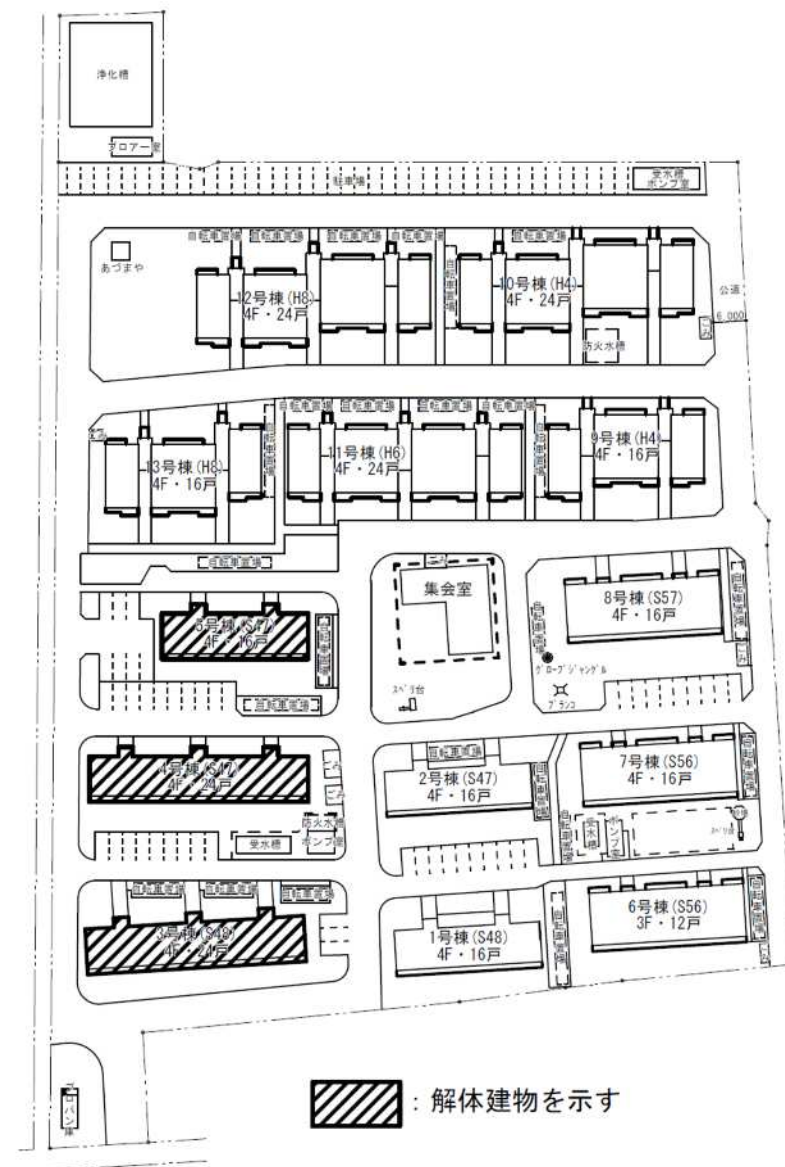


3 1 県住加須北小浜団地建設工事設計業務

○アドバイス主旨

住民が団地に対して誇りを持つことで、良好な景観を維持したくなるような建築物および外構のデザインとする



《 敷地内の現状 》



建替え予定の建物



(手前) 既存建物

(奥) 建替え予定の建物

1 建築物等に関するアドバイス

(1) 建築物を明るくきれいに見せ続ける工夫をする

バルコニー等の立ち上げをコンクリートではなくフェンスやガラス、パンチングメタルなどを用いることで、きれいにするの優位性を示すことができる。また、風通しがよくなることでカビの発生を防止できる。

金属を用いる場合はステンカラーのアルミを使うなどして建物との調和を考えると良い。



(2) 経年劣化による建築物の汚れを目立たなくするようにする

汚れそうな箇所には暗い色を配色すると良い。明度を落とした色は高級感を出せるが、あまり広い面積で使うと重い印象になってしまうので注意する。

(3) 全体のカラーシステムを組み立てたうえで細部を検討する

敷地北側の建物との連続性を考えると、5YR 寄りの赤っぽい色を取り入れると良い。また、10YR を基本とすると日本の風土に合っていて好まれやすい。同じ建物が連続するなら 10YR 系と 5YR 系で交互にすると配色をネガポジにする等、建物毎あるいは面毎に変化をつけると退屈にならない。道路からよく見える住棟の妻面等に外壁基調色と明度差が2以上ある色彩を補助色として使い、1層分の壁面を適度に高さを変えて塗装することも景観に適度な変化をもたらす。



2 外構等に関するアドバイス

(1) 団地入口にゲート性を持たせ、住民のアイデンティティとする

シンボルツリーなどでもう少しメインゲートをわかりやすくした方が良い。植栽については、クスノキなどの鳥が住み着きにくい樹木とすると良い。



(2) 見え方を意識した施設のデザインと配置をする

建物のベランダ側に駐車場を設ける場合、植栽等で視線の遮りをつけると良い。また、棟ごとに駐車場を設置するのではなく、複数棟の分をまとめて検討した方がよい。駐輪場についても、道路面から見えてしまう場合は、植栽の裏に配置する等の工夫が必要である。また、今後は入居者の高齢化が考えられるため、デイサービスの車の停車も考え、アンブレラフリーになるような配置が良い。

建物以外の施設の色相はトーンを落とし、色はこげ茶色と同じ色相のものにするとまとまる。屋根の外側は暗い色にし、内側を明るい色にすると良い。

(3) 維持管理をしやすいハード面での工夫をする

路上駐車対策のポールは経年劣化すると荒廃した印象を与えるため、石材のプランターに変えたり、緑化したり、景観を阻害しないように工夫する。

植栽については団地内を都市空間として緑化計画を考え、自治会が維持管理しやすいような緑化方法をつくる。

